

はるの木だより



美土里荘の人口

〔9月末日現在〕

総数 50名 平均年齢 76歳

男 12名 (74歳)

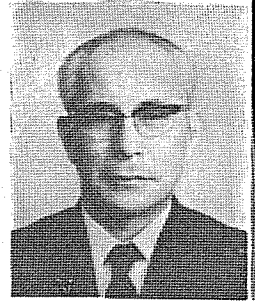
女 38名 (76歳)

美土里荘のある土地の歴史と命名の由来

理事長

盛田

稔



平美土里荘の後には沢山の、奈良（この時代頃の竪穴住居の数が多くなる）と多くの人が住んで居たことになりな
る。江戸時代には十三森と呼ばれる平
原で、七戸の氏たちの演習場であつた。
た。戦前の五万の一人の従者を埋葬
した。盛りの古老の貴人のところだか
し。盛りの正し。い書き方であるなど
言。つていた。十三森と
あり、十三人の武士の埋葬した場所
を、盛りの伝説が、この地方では十三
言。うべきか。もし、この地方では十三
の。また、十三塚は、真言宗の僧が十三箇
もある。有力にも言われつつある。が、最近古墳説

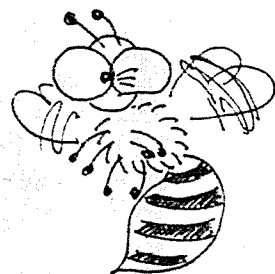
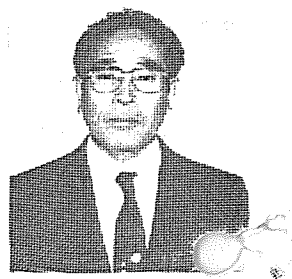
ここはまた南部藩最大の産地であ
る。下北半島から休業地でもあり、
戸に入ると呼ばれてきた。新田を
ゴダイとも呼ばれた。この新田を
開いてから、盛田家の所有地とな
明。治。2。0。年。代。に。は。南。部。地。方。で。最。初。に
林。檉。栽。培。を。試。み。た。が。失。敗。を。見。た。こ
に。戦。後。荒。廃。した。全。国。の。山。々。を。速。か
緑。化。す。る。た。め。に。最。適。の。木。と。し。て。父。の。さ
が。し。あ。て。た。の。が。今。も。周。り。に。残。つ。て。い
る。ハ。ン。ノ。キ。で。あ。る。父。は。晩。年。の。全。精
力。を。日。本。全。土。の。緑。化。の。た。め。に。試。験。に。あ
が。つ。た。今。の。地。は。その。施。設。を。作。る。に。当
り。父。の。今。の。業。績。を。し。の。び。か。つ。母。の。名
次。ど。り。に。因。み。美。土。里。荘。と。命。名。した。

施設は職員の仕事の真意が全て

園長 小倉 政雄

ます理事長先生最後の目標であり
 美土里荘が去る六月一日開設し
 した。五十名の達は一か月入所定員
 後の老人生活の過さし何とも老
 った老人の生活の過さし何とも老
 里荘で想は職員は風呂食事も申
 人の感想は職員は風呂食事も申
 やつて毎日がとしも楽しい話
 分なく。がとしも楽しい話
 ておき。がとしも楽しい話
 ます。職員はとしも楽しい話
 せに職。がとしも楽しい話
 かも。がとしも楽しい話
 感謝。がとしも楽しい話
 職員。がとしも楽しい話
 施設。がとしも楽しい話
 と思。がとしも楽しい話
 立派な施設。がとしも楽しい話
 と考。がとしも楽しい話
 らから。がとしも楽しい話

を第一の目標にして頑張っており
 ます。入浴、排泄、食事、その他
 介助、身体鍛錬、心身の健康、
 は長く勤め、生活の中心が毎日
 心と身体、生活の中心が毎日
 ります。生活の中心が毎日
 移動する。生活の中心が毎日
 力を要する。生活の中心が毎日
 ん。生活の中心が毎日
 ぬ。生活の中心が毎日
 現在、職員は健康で、辛く、
 わがままだ。生活の中心が毎日
 今の若人、声、云々、
 ますます、美土里荘、
 あては、美土里荘、
 落成式、美土里荘、
 まし。生活の中心が毎日
 一本。生活の中心が毎日
 努力。生活の中心が毎日



—スナップ集—

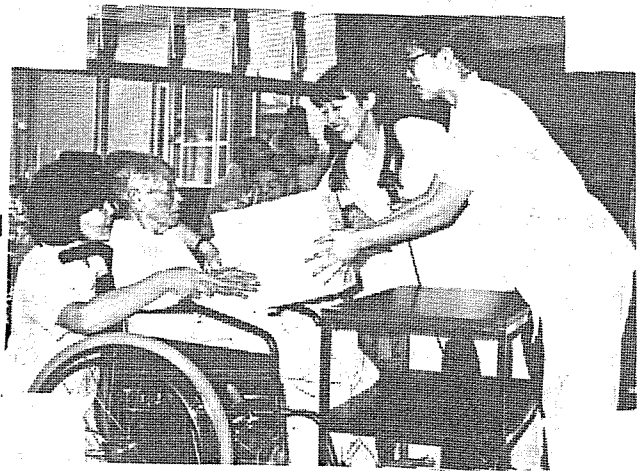


美土里荘入所者、
唯一の荒谷御夫婦です。
「いつまでもお幸せにネ！」

<敬老会>

めでとう！

高年齢者96歳の菅原さん。
「の箱の中に何が入っているのかな？」
0万円位の品かも？



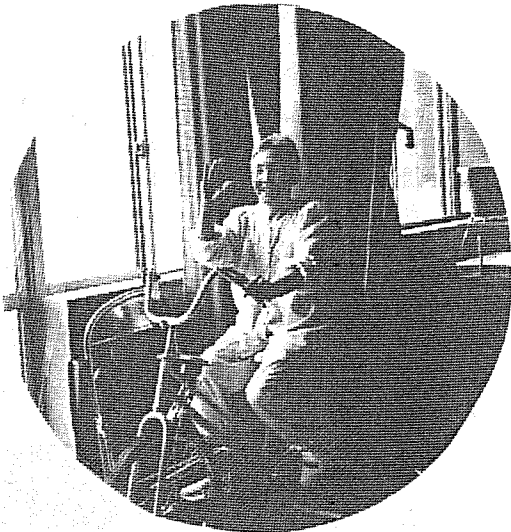
<お誕生会>

男・・・「俺について来い」

女・・・「はい！タツさん」

「矢切の渡し」を演ずる名物？寮父たち

— あの日この日の —



<リハビリ訓練>

毎日の練習ごくろうさまです。

これからもガンバッテネ！岩崎さん



愛する妻のもとへ

毎日通う軽米さん



<夏祭り>

「ねえ、ねえ、踊り教えて！」

「私も知らないのよ」

『♡初めまして♡スタッフです。』

副園長・・・盛田益三の巻



指導員・・・野月真理子の巻

S 25 年 2 月 1 日 生まれ

身長 151cm?、H 90、

B 8、の女性で、施設経験

20 年という福祉の鬼でもあります。

また趣味も多く読書、ド

ライブ、etc で特にドライブに

関しては東北の観光地をほとん

ど周ったとか・・・

性格は、強き、サッパリという

言葉がピツタリの竹を割ったよ

うな性格で如才を許さない完璧

主義者、しかし一旦アルコール

が入ると、ピンクレディーの U

FO が飛び出るほどの明るさを

隠し持っている美人です。!!?

(③この欄は寮父Oによる紹介

記事です。)

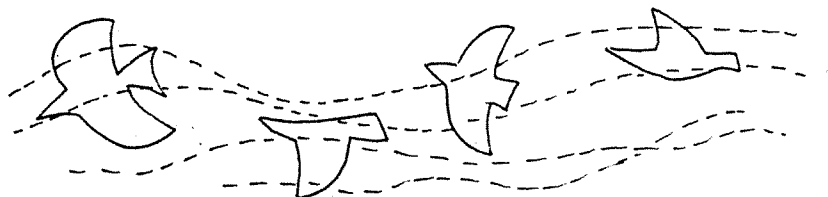
「はんの木だより」創刊おめでと
うございます。六月の開園から4
カ月たち職員の皆さんも老人の方
方も仕事に生活に大分慣れ、当初
とは違い園内にも落ち着きを感じ
られます。ただこの現況に満足し
慣習化し、マンネリ状態にならな
い様、常に工夫して新しい事を取
り入れていきたいものです。

職員紹介ということですので簡
単に経歴を説明申し上げますが北
里大学畜産学部獣医学科卒業後直
ちに東京に就職、獣医畜産関係の
会社に入社後15年同一会社で薬
品プロバーとして勤め、60年4
月に帰郷しました。その後、この
仕事のため、中部上北広域事業組
合の精薄施設、老人ホーム等4施
設で研修と実習をさせて頂き、当
荘開設と同時に職員として働かせ
て頂いております。

趣味は、ゴルフが好きなのですが
仕事とお金の都合により(本当は
お金の都合が先なのですが、
・・)でここ2年ほどクラブを持
っていません。来年あたりは行け
るんじゃないかと期待しているの
ですが、・・ということでしょうか。

美土里荘の発展とともに「はん
の木だより」の益々の隆盛を祈念
し締めさせていただきます。





*スポット*インタビュー

このコーナーは、どなたかのところへお邪魔してお話を伺うコーナーです。第1回目は、美土里莊入所者であり、昭和2年生まれの蛭名ツルさんです。

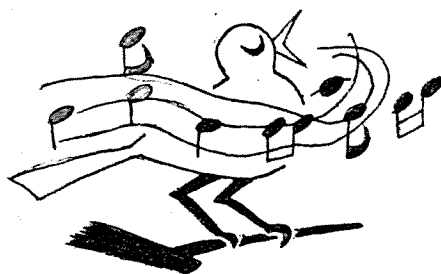
・ ・ ・ 蛭名さんは、18才から3年間住み込みの奉公に出、睡眠時間が3時間だったとのこと、そしてここでの生活が自分の生き方の基礎となったそうです。

「昔の人は道徳心が今の人よりあると私は思っている。言葉1つとっても丁寧さだのネ。今の人は、学校の教育は優れていて外国語も多く知っている。でも社会教育は、



まだまだ・・・だから、お互いに自分の知っていることを半分ずつ出し合っていていけばうまく行くと思うよ。」

蛭名さん御協力どうもありがとうございます。世代の違う人達にとって身近なかけはしになると思います！



菅原 美土里莊 今、美土里莊 今年、美土里莊 明治25年8月1日生まれ 宮城県栗原郡志波姫町出身 蛭名さん 持っ！長寿の秘けつは少食と手鏡 とかして女性のためを忘れぬこ

*これからの行事

10月・運動会

買物外出

11月・室内レクリエーション

誕生会

12月・クリスマス会



発行所・特別養護老人ホーム美土里荘

〒039-25 上北郡七戸町寒水70-17

☎0176(62)2761